Vol.14　2021年5月発行

奈良教育大学特別支援教育研究センター
NEWS LETTER

TEL&FAX　0742-27-9314
http://cp-support2.nara-edu.ac.jp/hp/
E-mail：tokubetsu@nara-edu.ac.jp

―ごあいさつ―

15年の蓄積を生かし、新しい一歩を

特別支援教育研究センター
センター長　越野和之

2021年4月より、前任の根來秀樹先生からセンター長の任を引き継ぎました。前年度から引き続く新型感染症の猛威は未だ収束を見通すことの難しい状況ですが、そうした下でも、新しいスタイルのセンター事業を少しずつ進めていきたいと期しています。

本センターの発足は2007年3月、特別支援教育という新しい仕組みが法的裏付けを持ってスタートする前夜のことでした。そこから15年、積み上げてきたさまざまな取り組みの成果と課題を検証しつつ、障害やさまざまな困難をもちながら日々を懸命に生きている子どもたち、青年たちのねがいに寄り添い、ご家族のみなさま、学校園の先生方とともに、子どもたち・青年たちの力になれるセンターを志向していきます。

このページを飾る3名の新しいスタッフに加え、6月からは臨床心理士の松葉真理子さんにも相談員として加わっていただきます。今後とも、どうぞよろしくお願いします。

今年度はこんなメンバーです！
どうぞよろしくお願いいたします。

教職大学院　教職開発講座
教授　　全　有耳

はじめまして、令和3年度4月より教職大学院に着任いたしました全　有耳（ぜん　ゆい）と申します。小児科診療（現在は発達障害等の診療に携わっています）、保健福祉行政（京都府の保健所に勤務）の経験を経て現在に至っております。保健所勤務時代にはかつて当センターで実施されていましたペアレント・トレーニングインストラクター養成講座に参加させていただき、就学前の子どもをもつ保護者へのペアレント・トレーニングを実践してきました。当時のことが懐かしく思い出され、センターで活動できることをうれしく思っております。私の専門分野は障害児医学及び小児保健ですが、支援や治療と共に大切なことは「予防」にあります。めまぐるしく変化し多様化する社会の中にあって、子どもひとり一人が健やかに自分らしく自己実現できるための環境づくりが今後ますます重要となります。子どもへの支援と共に予防的な手立ての充実に向けて、皆様方と力をあわせて進んでいければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

特別支援教育研究センター
特任講師　　小松　愛

こんにちは。今年度より特任講師として着任しました小松愛（こまつめぐみ）と申します。センターでは、2年前より相談員として個別の相談や小集団プログラムに携わらせていただいております。ここで出会う子どもたちは、皆それぞれに違っていて、いつも刺激をもらいます。そんな子どもたちが自分だけの強みや生きづらさを理解し、向き合い、色々な場所で輝けるようにお手伝いがしたいと考えています。今後は発達障害のある子どもの心の健康とは何か、適応とは何かといったテーマについて深めていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

特別支援教育研究センター
相談員　　角田　悠至

本年度より特別支援教育研究センターの相談員として勤務しております、臨床心理士の角田悠至（すみだひさし）と申します。これまでは医療領域で発達検査やカウンセリングを行ってきました。現在は、スクールカウンセラーや学生相談など、主に教育領域で活動しています。同じ心理職でも医療と教育では異なることが求められます。ただ、心理職としてお会いする方は何らかの困りごとを持っておられ、その困りごとをどのように解決していくのかを、その当事者の方と“一緒に”考えていくという点は、共通していると感じています。少しでも皆さまのお力になれるよう努めてまいります。

令和２年度の取り組み

教育相談・発達相談

（令和２年４月～８月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため閉室し、以降は対策を講じながら相談を再開しました）

相談総数	73 件	内訳		
		発達相談	72 件	／教育相談等　1 件

保護者・子ども向けプログラム

寺子屋（全９回）	のべ人数	９名			
鉄オタ倶楽部（全７回）	子ども	のべ	87 名	サポーター	のべ　28 名

講座・研修

11/14「夜尿・チックの原因は本当にストレスか？」（オンライン開催）　講師：根來秀樹

2/10「学びのユニバーサルデザイン」（オンライン開催）　講師：川俣智路先生
（後援：奈良県教育委員会特別支援教育推進室）

2/27「子どもはどのようにして数を理解していくのか？－遊び・生活の中にある“かず”と算数－」
（オンライン開催）　講師：山名裕子先生

センターからのお知らせ

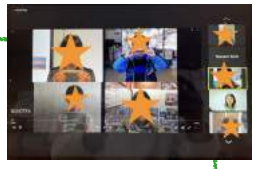
Facebookにてイベントのお知らせ、活動記録などをアップしています

今年度はオンラインを活用したイベントを企画中です！

特別支援教育研究センター
Facebook

奈良教育大学鉄オタ倶楽部
Facebook

令和２年度 活動報告



鉄オタ倶楽部

鉄オタ倶楽部は、発達障害のある子どもたちの“好き”を追求しながら集団の中で社会的スキルを学ぶことを目的としたプログラムです。令和2年度は定例会も発表会もオンラインでの開催となりました。月1回の定例会ではクイズ大会、個人活動報告会（毎回、自然と始まります）を楽しみました。成果発表会に向けては、チームの結成から6か月をかけてインターネットやパソコンを駆使し、準備を進めてきました。本番では架空鉄道、Nゲージ、鉄道クイズなどマニアック度マシマシの発表を披露してくれました。

オンライン公開講座開催！

令和2年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、オンライン公開講座を開催しました。センターとしても初の試みで、運営に際し戸惑うこともありましたが、無事に3名の講師をお招きし、興味深いお話を伺うことができました。またオンラインの強みでもある、遠方の方のご参加も多数ありました。今年度もいろいろ企画していきますので、ぜひご参加ください！

放課後学習支援「寺子屋」

学習困難のある子どもを対象とした学習支援プログラムです。専門のスタッフの助言を受けながら、主に教員を目指す学生が趣向を凝らして指導に当たっています。今年度は読み書きに加え、ローマ字やタイピングにも取り組みました。小学6年生はいったん卒業ということで、最終回にお楽しみ会＆卒業式を開きました。お疲れ様！

特別支援センター　スタッフ一覧

センター長：越野 和之（教育学部兼務）
センター専任教員：富井 奈菜実（公認心理師）
小松 愛（臨床心理士・公認心理師）
相談員：角田 悠至（臨床心理士・公認心理師）
松葉 真理子（臨床心理士・公認心理師）
教育学部兼務教員：中西 陽（臨床心理士・公認心理師）
教職大学院兼務教員：全 有耳（小児科医）
木下 理恵
堀田 千絵（公認心理師）
事務員：大久保 直子・大槻 寿子

【お問い合わせ先】
奈良教育大学特別支援教育研究センター
住所：〒630-8528　奈良市高畑町（奈良教育大学高畑キャンパス新館1号棟 1階）
TEL & FAX：0742-27-9314　*火・水・木（祝日を除く）午前10時～午後1時／午後2時～午後4時
メールアドレス（事務）：tokubetsu@nara-edu.ac.jp